

INDEX

1	編集方針
2	会社概要
3	報告セグメント、役員一覧
特集	
中期経営計画	
2024年度－2026年度 3か年計画	
4	鼎談
「C-suiteが導く、竹田 i P グループの価値創造。」	
10	中期経営計画 2nd DIGEST
12	事業戦略
14	竹田 i P グループのサステナビリティ
15	SDGsへの取り組み
17	2025年度のサステナビリティに関する活動報告
組織統治	
18	コーポレート・ガバナンス
22	株主・投資家の皆様とともに
環境	
23	環境活動
マネジメントシステムの状況	
24	環境保護の状況
25	環境保護活動の推進
27	竹田 i P グループの省エネ対策
人権・労働慣行	
28	人権・人材の取り組み
29	ダイバーシティの推進
30	多様な人材の活躍を支援する制度・取り組み
32	人材開発・育成
34	健康経営への取り組み
36	労働安全
消費者課題	
37	お客様とともに
公正な事業慣行	
40	サプライヤーの皆様とともに
データ集	
42	財務・非財務ハイライト
44	ESGに関する外部からの評価

掲載項目の確定プロセス

本レポートに掲載されている項目は、以下のプロセスで確定しました。

STEP 1 活動の洗い出し

編集委員が中心となって2025年度における当社活動の洗い出しを行いました。

STEP 2 活動実績のリストアップ

当社の外部および内部の状況や「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」※1の4分野10原則、GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」※2の開示項目、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」※3の目標を参考に活動実績のリストアップを行いました。

STEP 3 掲載項目の選び出し

2025年度の活動実績および国連グローバル・コンパクトの原則、GRIスタンダードの開示項目、SDGsの目標の中から、当社にとって重要と思われる事項を選び出しました。

STEP 4 サステナビリティレポートの発行

掲載情報がすべて確定した段階で、代表取締役会長、代表取締役社長の承認を得て、レポートを発行しています。

- ※1：国連グローバル・コンパクト（UNGC）
国連グローバル・コンパクト（UNGC）は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組み。
- ※2：GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
GRI（Global Reporting Initiative）は、組織の非財務情報の報告に関する国際基準を策定するNGO。「GRIスタンダード」は、経済、環境、社会に与えるインパクトなどの報告に利用する基準指標。
- ※3：SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」
ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標。



編集方針

竹田 i P グループは、「環境負荷の低減」と「企業価値の向上」の双方を追求し、持続可能な社会の実現を目指しています。本レポートは、ステークホルダーの皆様に応じたサステナビリティ経営に対する姿勢と、具体的な進捗をお伝えすることを目的に編集しています。

2025年度は、温室効果ガスの継続的な排出削減をはじめ、環境配慮と事業成長の両立を推進。社会面では、新たな休暇制度の導入やキャリア支援を通じて多様な人材が安心し

紙面の構成

- 各項目のトビラにあるアイコンは、それぞれの項目に関連したSDGsの目標を示しています。
- 見出しにある番号は、その本文に関連したSDGsのターゲットを示しています。
- ESG※4への取り組みはページ右側の色帯で示しています。

※4：ESG
ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったもの。企業経営や成長において、それぞれの観点を持った上での配慮が必要だという考え方。

て能力を発揮できる職場環境を整備し、健康経営や女性活躍、障がい者雇用の推進といった各施策をさらに前進させました。ガバナンス面では、取締役会の多様性と独立性を維持しつつ、グローバル体制の整備と意思決定の高度化を進めています。

本レポートを通じて、当社の持続可能な成長に向けた取り組みをご理解いただくとともに、皆様との建設的な対話をさらに深める契機となれば幸いです。



報告対象組織

竹田 i P ホールディングス株式会社
(一部、竹田 i P グループの各事業会社の情報も含んでいます。)

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日
(一部、期間外の情報も含んでいます。)

参考にしたガイドライン

国連グローバル・コンパクト（UNGC）
GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」
ISO26000（社会的責任に関する手引）

発行時期

2026年8月（前回発行 2025年8月 ※毎年発行）

お問合せ先

竹田 i P ホールディングス株式会社
経営統括本部 総務部
TEL：052-871-6351

免責事項

本レポートには、竹田 i P ホールディングスおよび竹田 i P グループの過去と現在の事実だけでなく、公開日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略に基づいた将来予測が含まれています。諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

※本レポートは、「IRイベント」「会社説明会」などで配布するほか、当社ホームページでも閲覧できます。
※本レポートで、当社活動の中で重要と思われる部分については、前年からの修正再記述となっています。
※当社に関する情報は、本レポートのほか当社ホームページでも閲覧できます。

ホームページ
<https://www.takedaip-hd.co.jp/>